

## 4 自分のこと

### < 自己への評価 >

問8 あなた自身のことについてお聞きします。

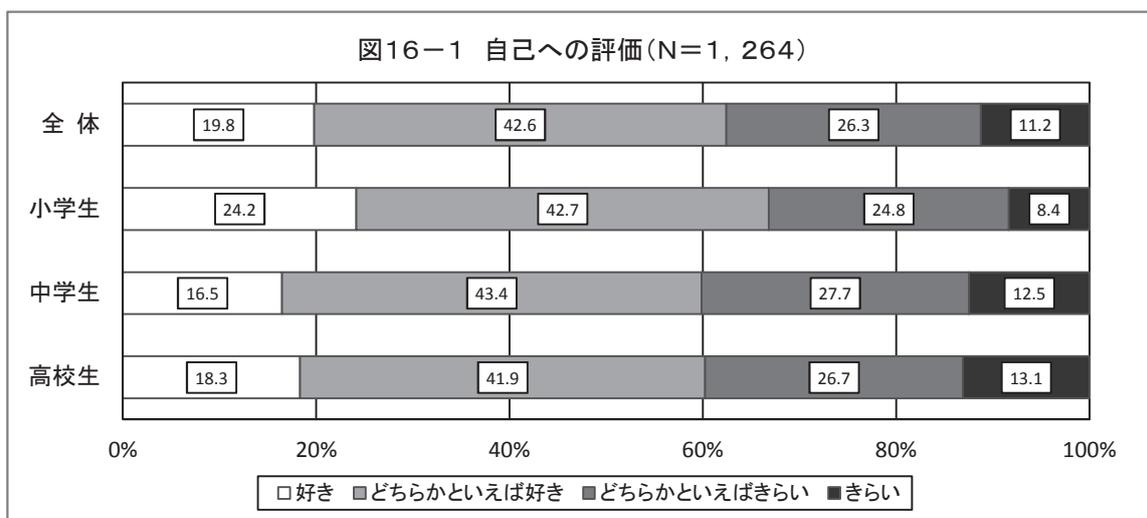
問8(1) あなたは、自分のことが好きですか。一つ選んでください。

#### 【全体集計結果】

自分のことが好きかどうか尋ねたところ、「どちらかといえば好き」が42.6%で最も高い。「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』は、62.4%となっている。

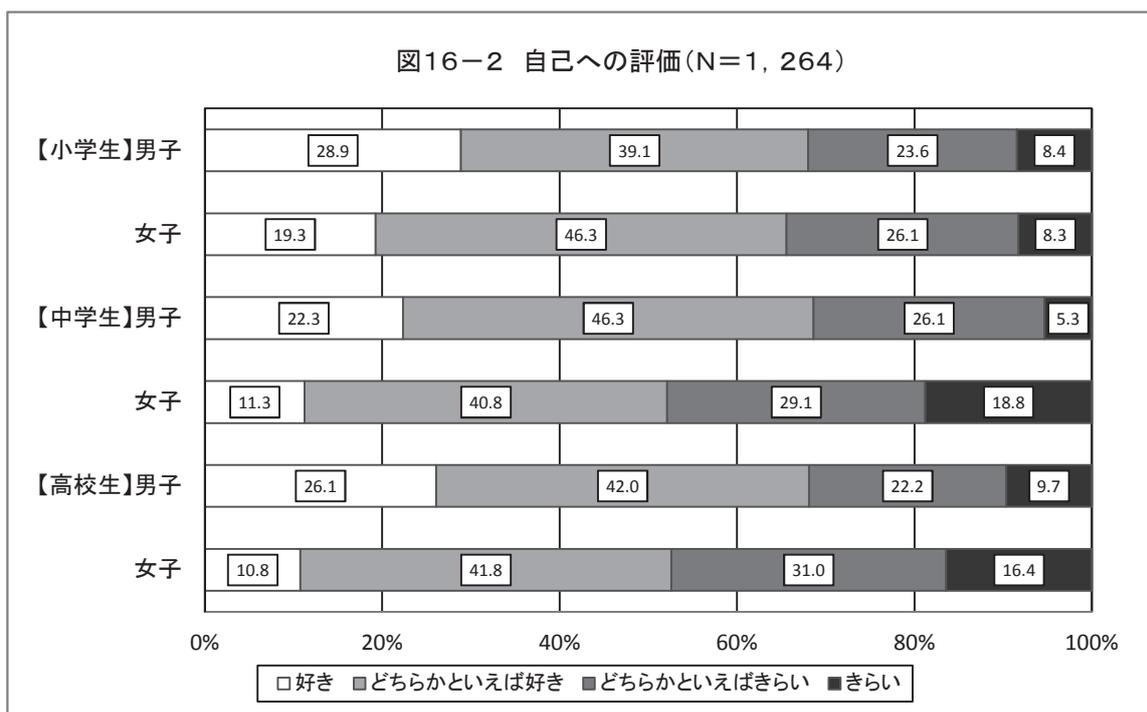
#### 【学校種別集計結果】

『好き』を見てみると、小学生が66.9%で最も高く、以下、高校生(60.2%)、中学生(59.9%)となっている。



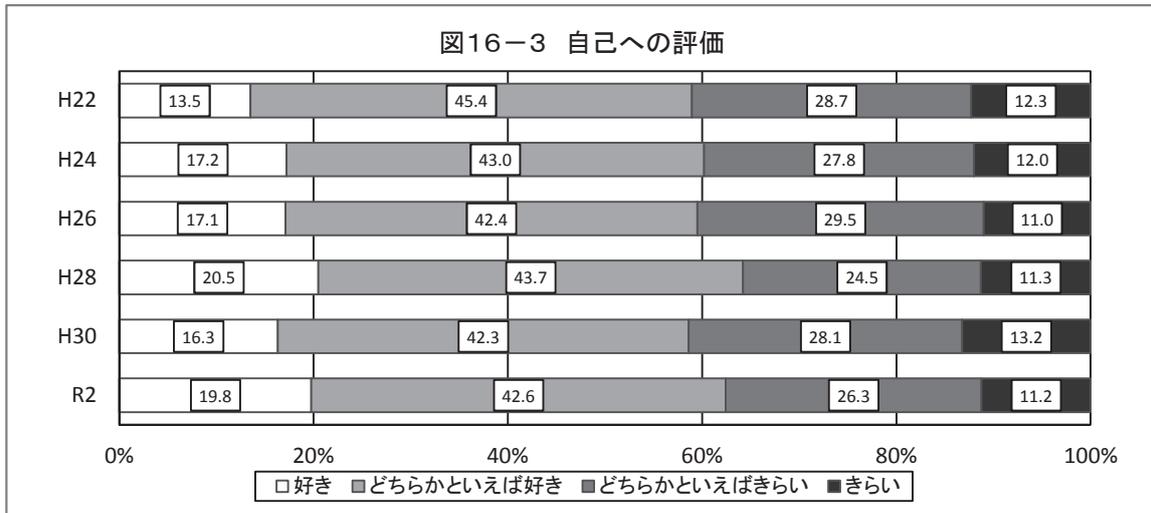
#### 【属性別集計結果】

『好き』を見てみると、中学男子が68.6%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、男子のほうが女子よりもポイントが高い。



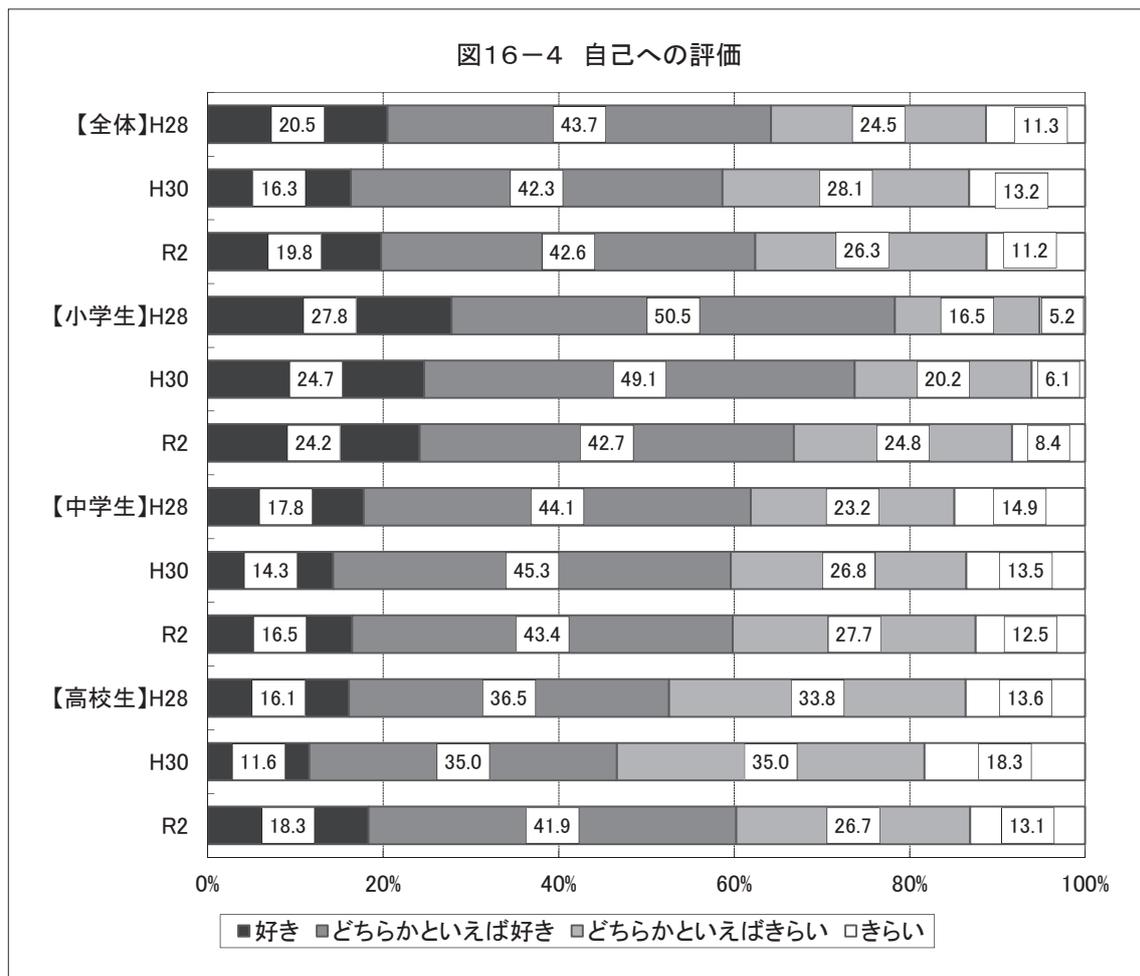
【経年変化】

『好き』については、平成28年度以外は約60%で推移しているが、令和2年度は、平成30年度から3.8ポイント増加して62.4%となっている。



【時系列比較(平成28年度・30年度調査と令和2年度との比較)】

『好き』については、30年度調査から、小学生は減少、中学生はほぼ横ばい、高校生は大幅に増加している。



## < 自己への評価(性格など) >

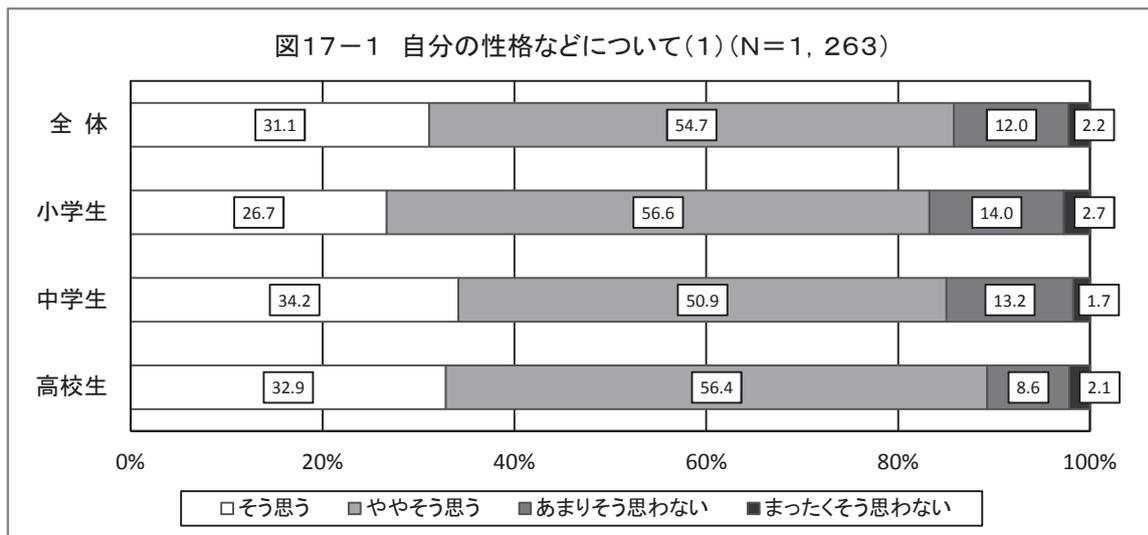
問8(2) あなたは、きまりやルールをきちんと守るほうですか。一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

きまりやルールをきちんと守るほうかどうかを尋ねたところ、「ややそう思う」が54.7%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、85.8%となっている。

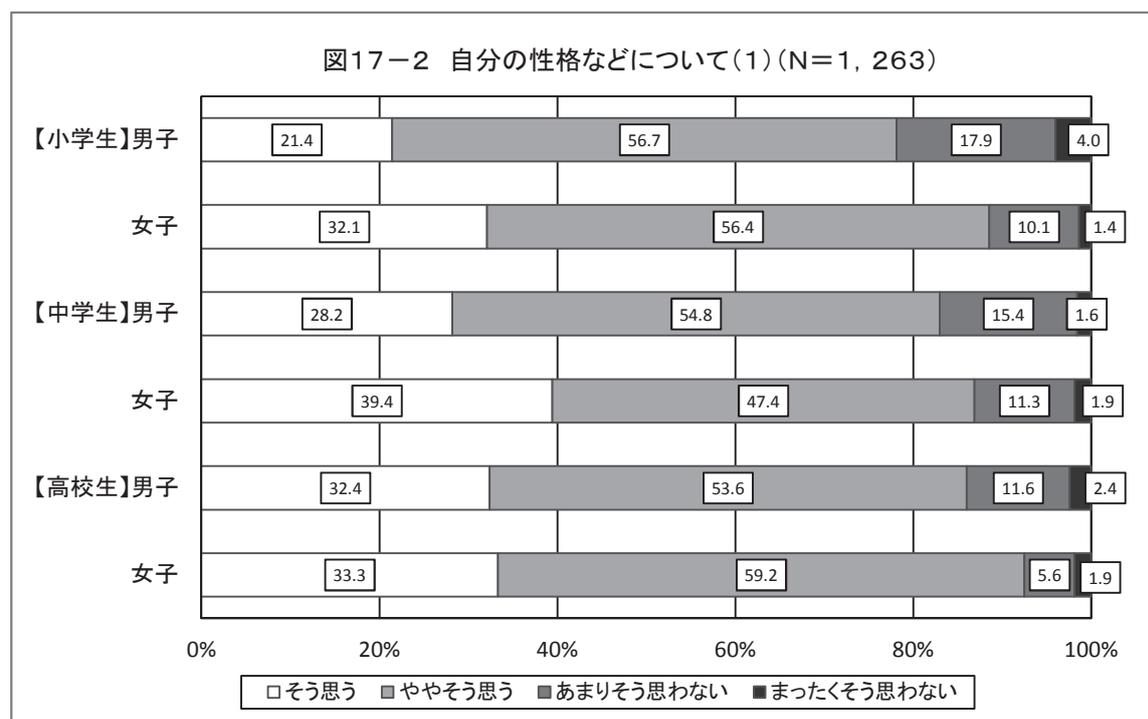
### 【学校種別集計結果】

『そう思う』を見てみると、高校生が89.3%で最も高く、以下、中学生(85.1%)、小学生(83.3%)となっている。



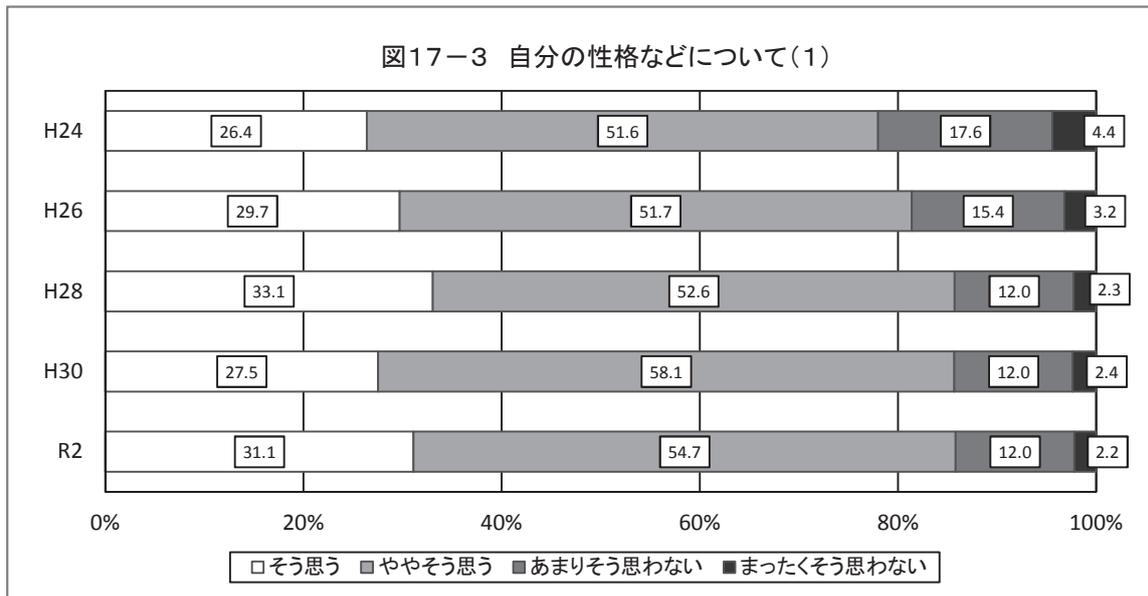
### 【属性別集計結果】

『そう思う』を見てみると、高校女子が92.5%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも女子のほうが男子よりもポイントが高い。



【経年変化】

『そう思う』については、平成28年度からほぼ横ばいとなっている。



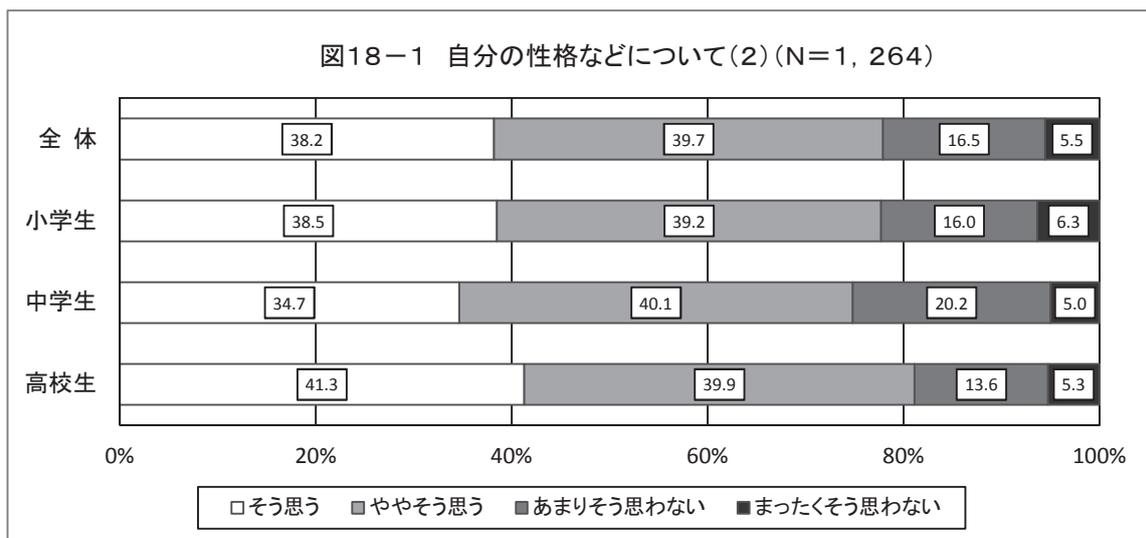
問8(3) あなたは、自然の素晴らしさにふれると感動するほうですか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自然の素晴らしさにふれると感動するかどうかを尋ねたところ、「ややそう思う」が39.7%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、77.9%となっている。

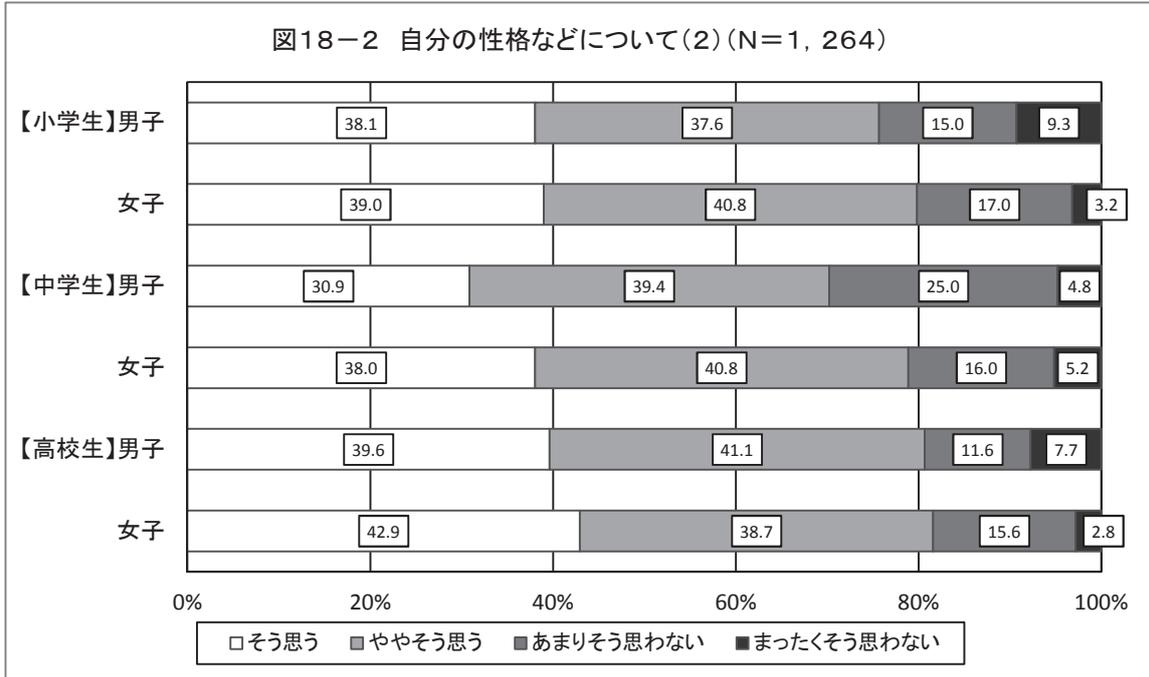
【学校種別集計結果】

『そう思う』を見てみると、高校生が81.2%で最も高く、以下、小学生(77.7%)、中学生(74.8%)となっている。



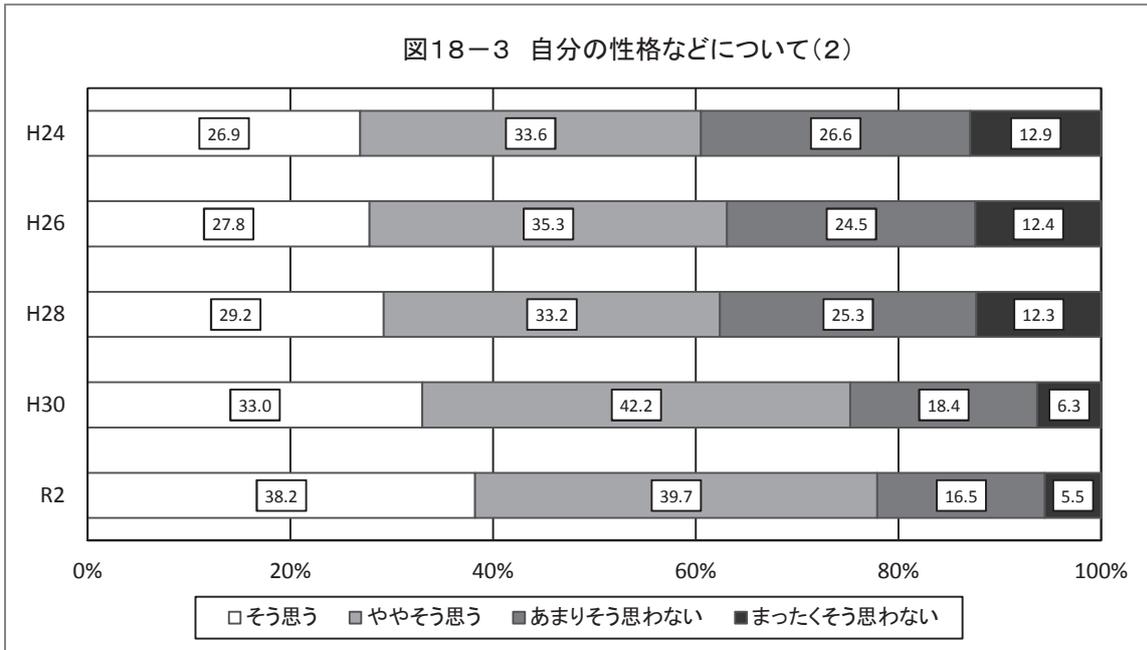
【属性別集計結果】

『そう思う』を見ると、高校女子が81.6%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりも高い。



【経年変化】

『そう思う』については、増加傾向にあり、平成30年度からは2.7ポイント増加している。



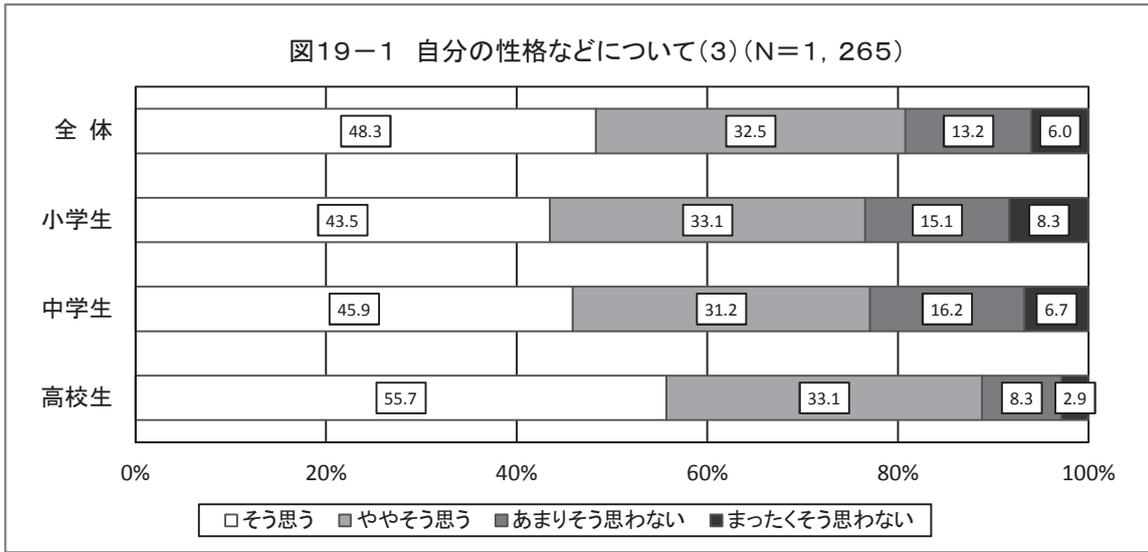
問8(4) あなたは、映画や音楽、美術作品を鑑賞して感動するほうですか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

映画や音楽、美術作品をみて感動するかどうかを尋ねたところ、「そう思う」が48.3%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、80.8%となっている。

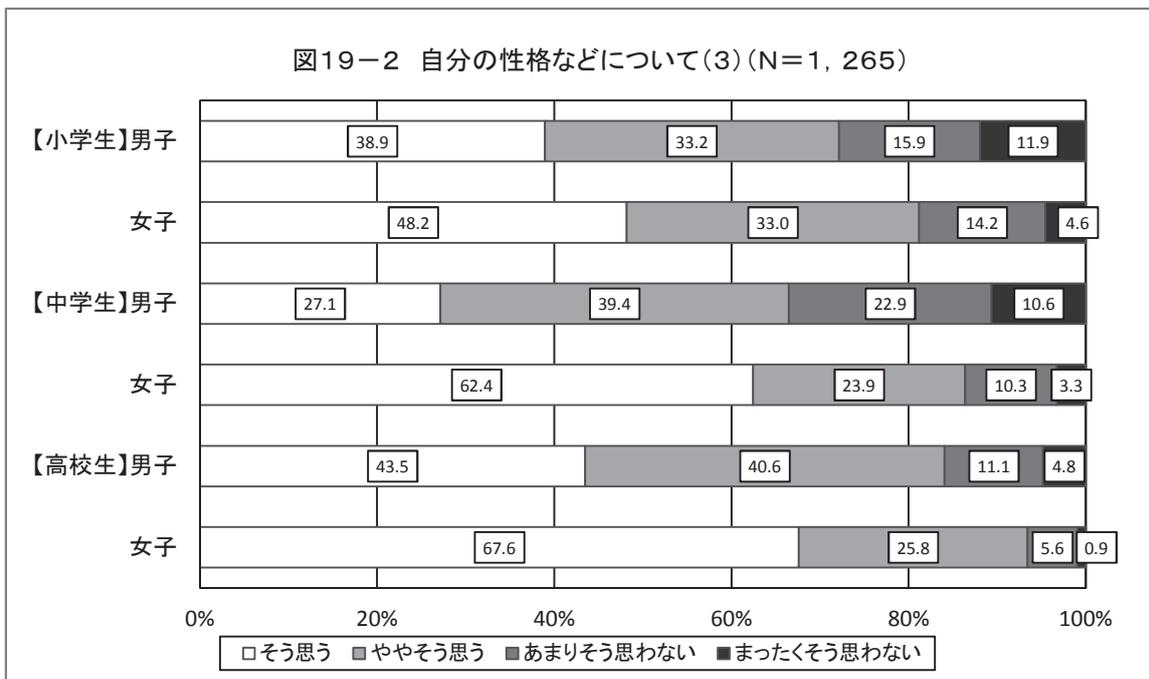
【学校種別集計結果】

『そう思う』を見てみると、高校生が88.8%で最も高く、以下、中学生(77.1%)、小学生(76.6%)となっている。



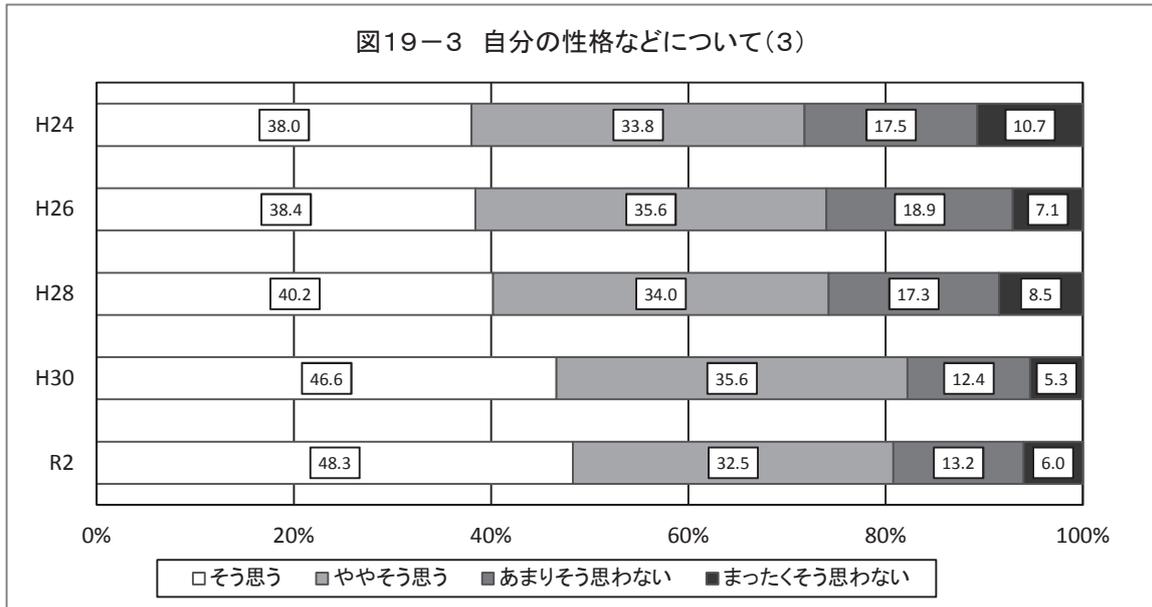
【属性別集計結果】

『そう思う』を見てみると、高校女子が93.4%で最も高い。また、小学生、中学生、高校生のいずれも、女子のほうが男子よりもポイントが高い。



【経年変化】

『そう思う』について、令和2年度は、平成30年度と比較すると1.4ポイント減少しているものの、全体としては、増加傾向にある。



## <自身への思いやり>

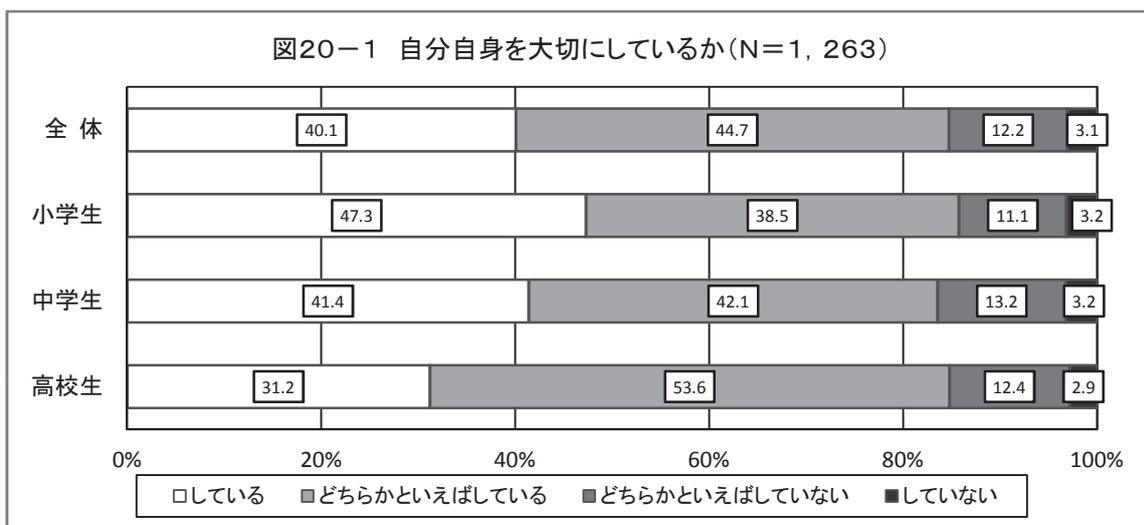
問9 あなたは、自分自身を大切にしていますか。一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

自分自身を大切にしているかどうかを尋ねたところ、「どちらかといえばしている」が44.7%で最も高い。「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた『している』は、84.8%となっている。

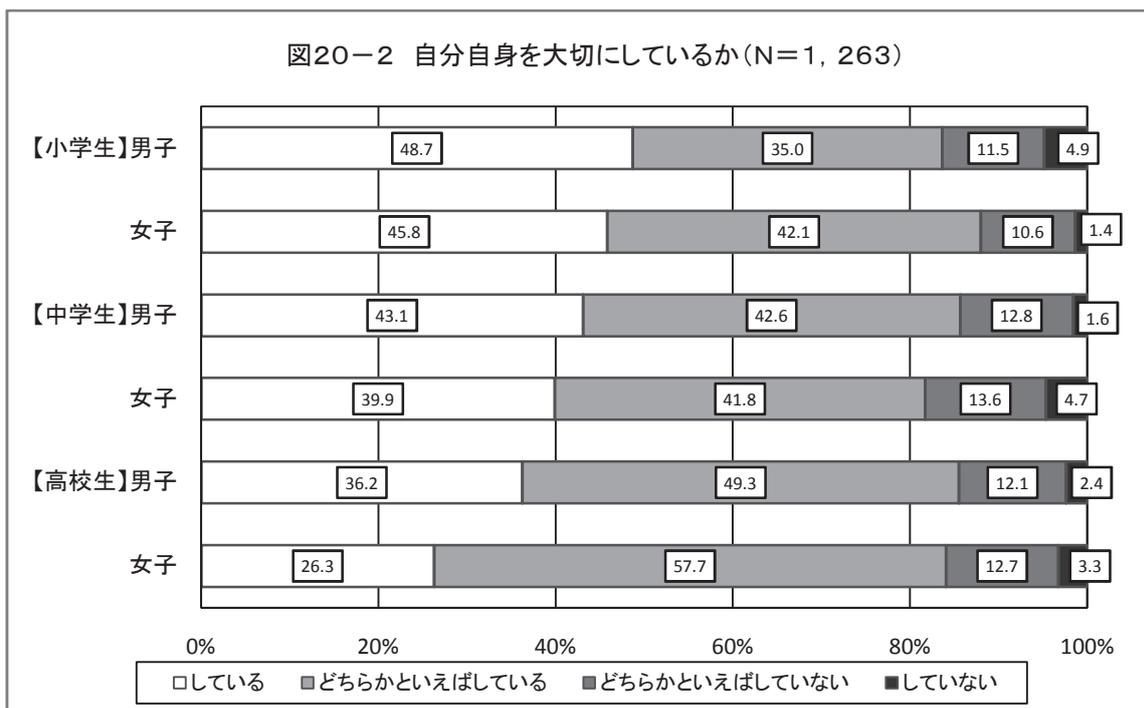
### 【学校種別集計結果】

『している』を見てみると、小学生が85.8%で最も高く、以下、高校生(84.8%)、中学生(83.5%)となっている。



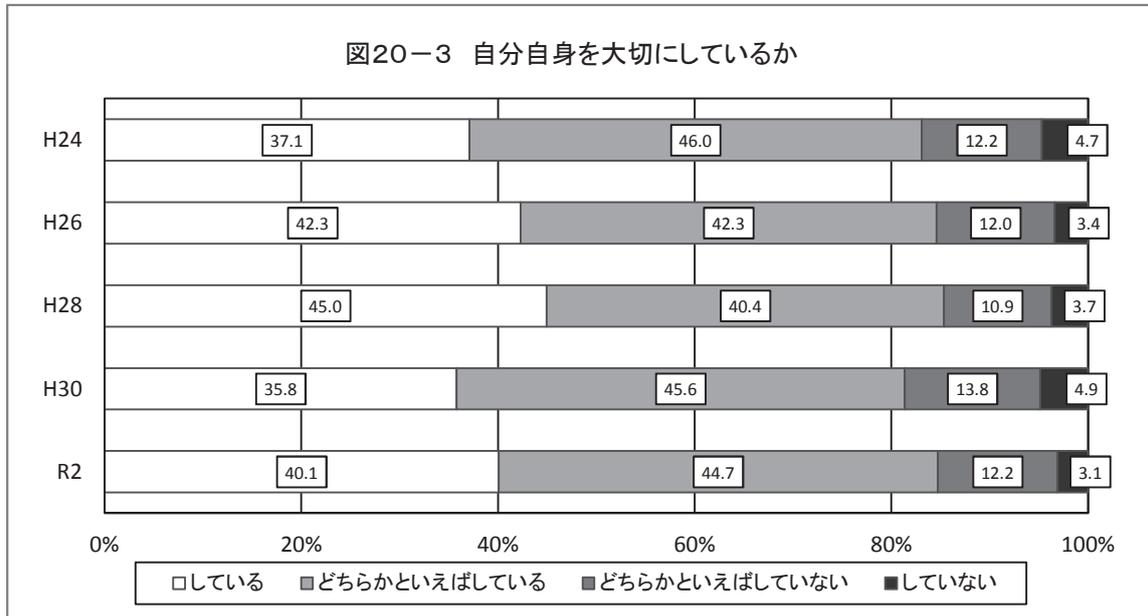
### 【属性別集計結果】

『している』を見てみると、小学女子が87.9%で最も高い。また、中学生、高校生では男子のほうが女子よりもポイントが高い。



【経年変化】

『している』について、令和2年度は平成30年度と比較すると、3.4ポイント増加している。



## <他人への思いやり>

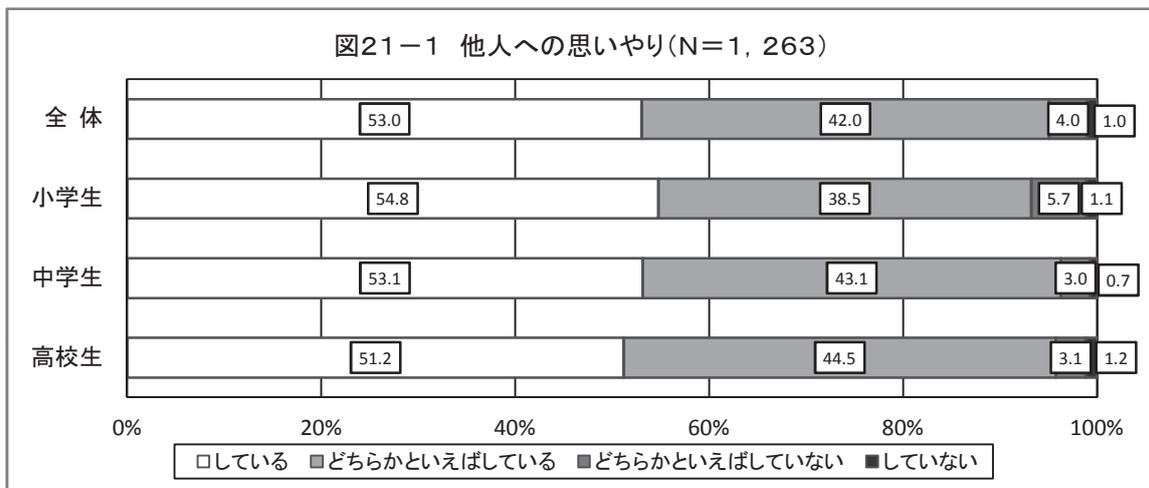
問10 あなたは、他人に対して思いやりをもって接するよう心がけていますか。一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

他人に対して思いやりをもって接するよう心がけているかどうかを尋ねたところ、「している」が53.0%で最も高い。「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた『している』は、95.0%となっている。

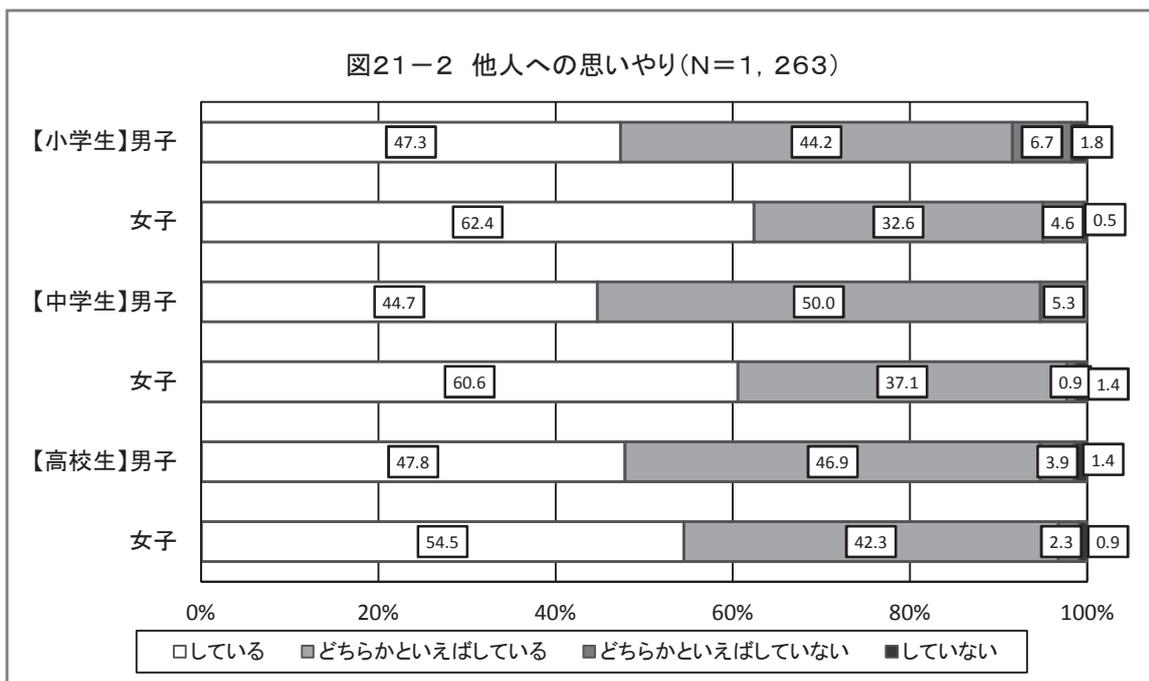
### 【学校種別集計結果】

『している』を見てみると、中学生が96.2%で最も高く、以下、高校生(95.7%)、小学生(93.3%)となっている。



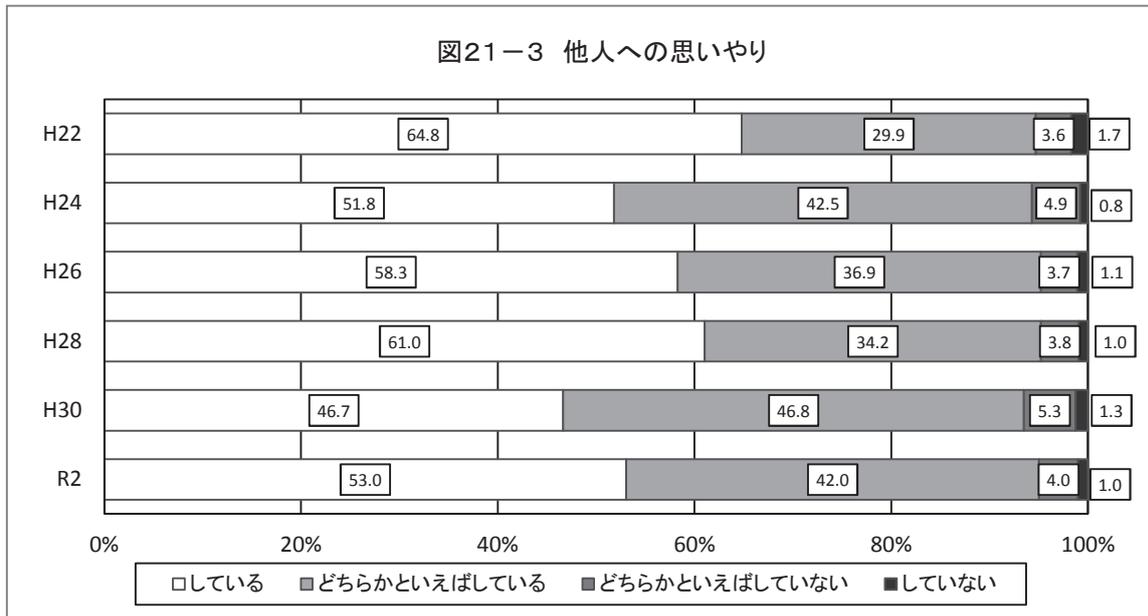
### 【属性別集計結果】

『している』を見てみると、中学女子が97.7%で最も高く、全ての属性において90.0%を超えている。



【経年変化】

『している』についておおむね95%前後で推移している。



<命について>

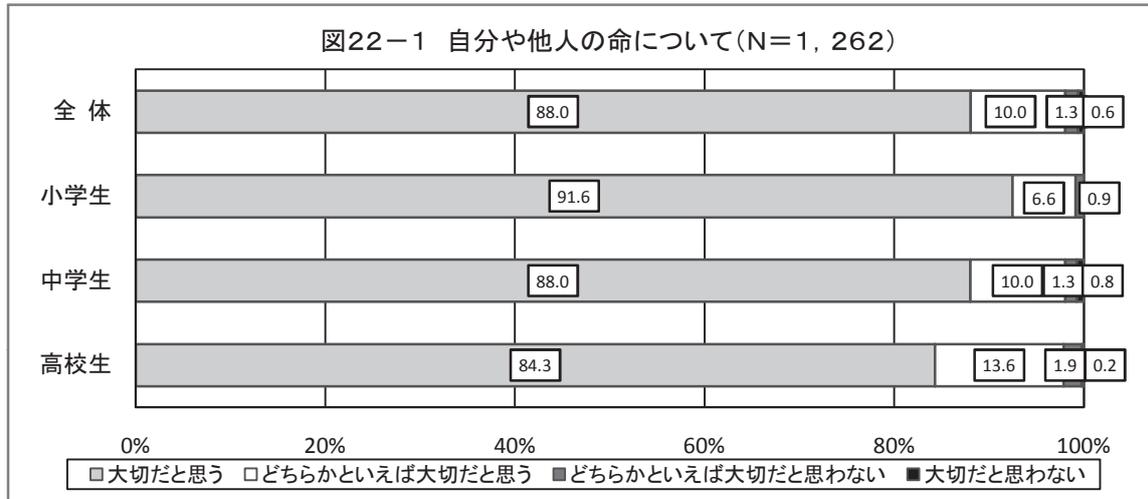
問11 あなたは、自分や他人の命についてどう思いますか。一つ選んでください。

【全体集計結果】

自分や他人の命をどう思うかについて尋ねたところ、「大切だと思う」が88.0%で最も高い。「大切だと思う」と「どちらかといえば大切だと思う」を合わせた『大切だと思う』は、98.0%となっている。

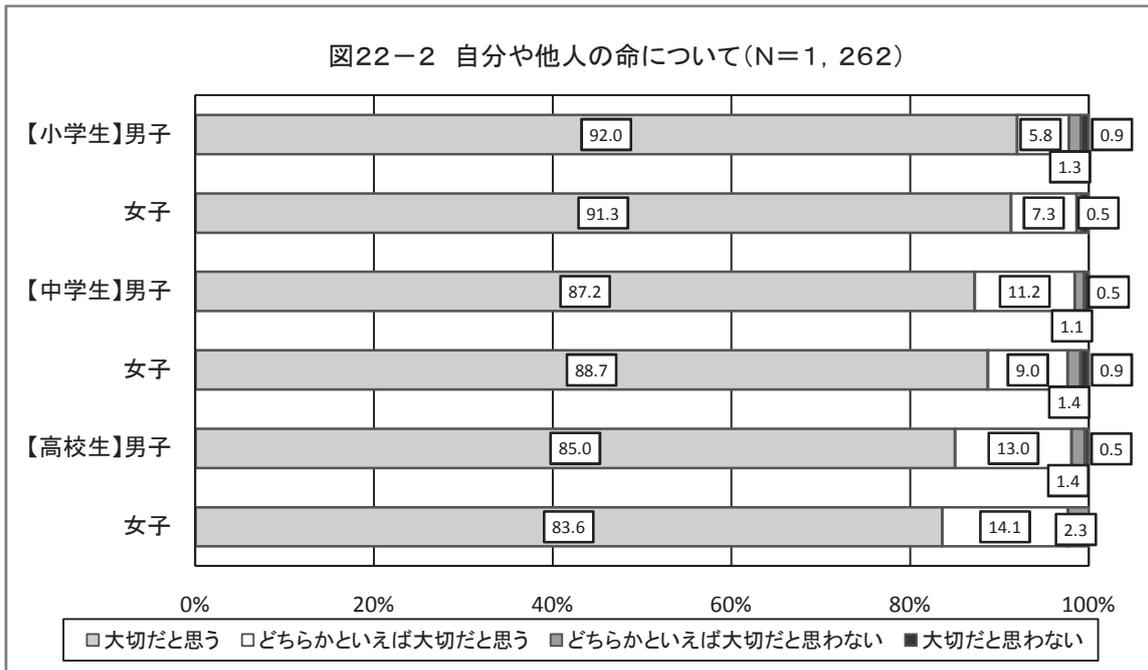
【学校種別集計結果】

『大切だと思う』を見てみると、小学生が98.2%で最も高く、以下、中学生(98.0%)、高校生(97.9%)となっている。



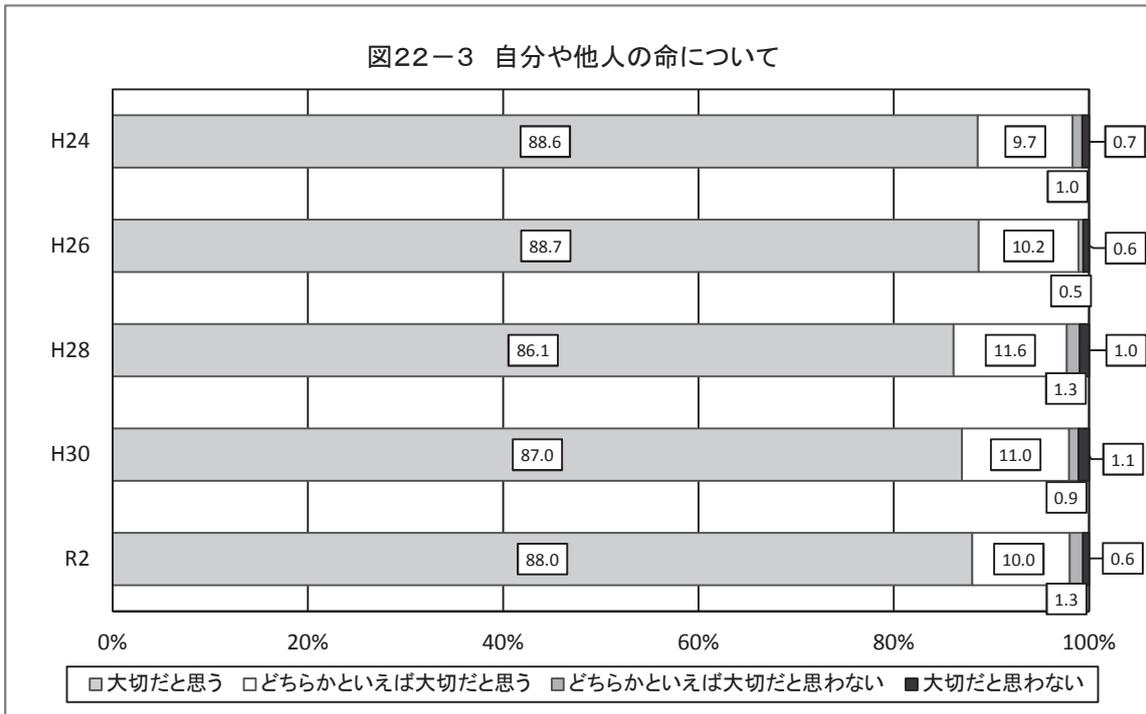
【属性別集計結果】

『大切だと思う』を見てみると、小学女子が98.6%で最も高い。また、全てにおいて男女の差はあまり見られない。



【経年変化】

『大切だと思う』については、おおむね98%前後で推移している。



## <家族や社会の一員としての自己有用感 >

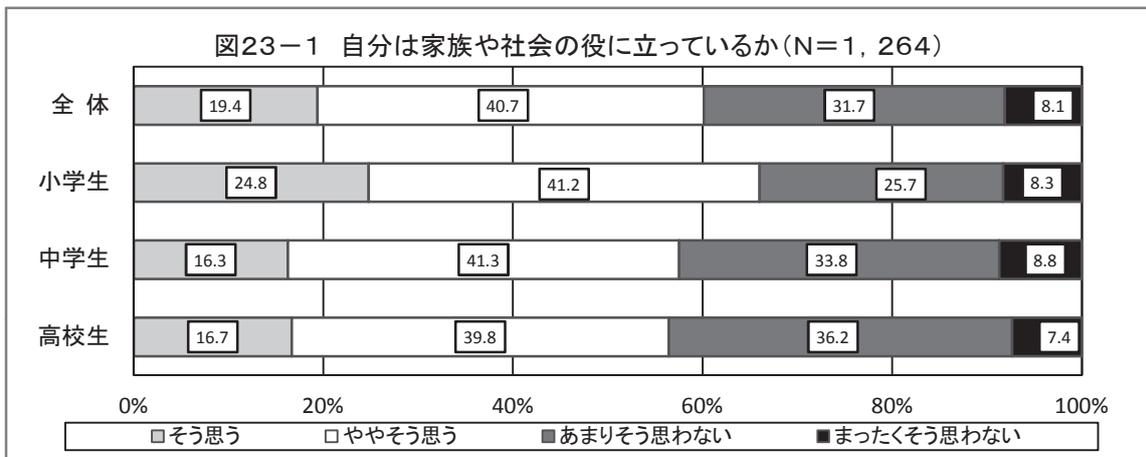
問12 あなたは、家族や社会の一員として世の中の役に立っていると感じるがありますか。一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

世の中の役に立っていると感じるかについて尋ねたところ、「ややそう思う」が40.7%で最も高い。「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』は、60.1%となっている。

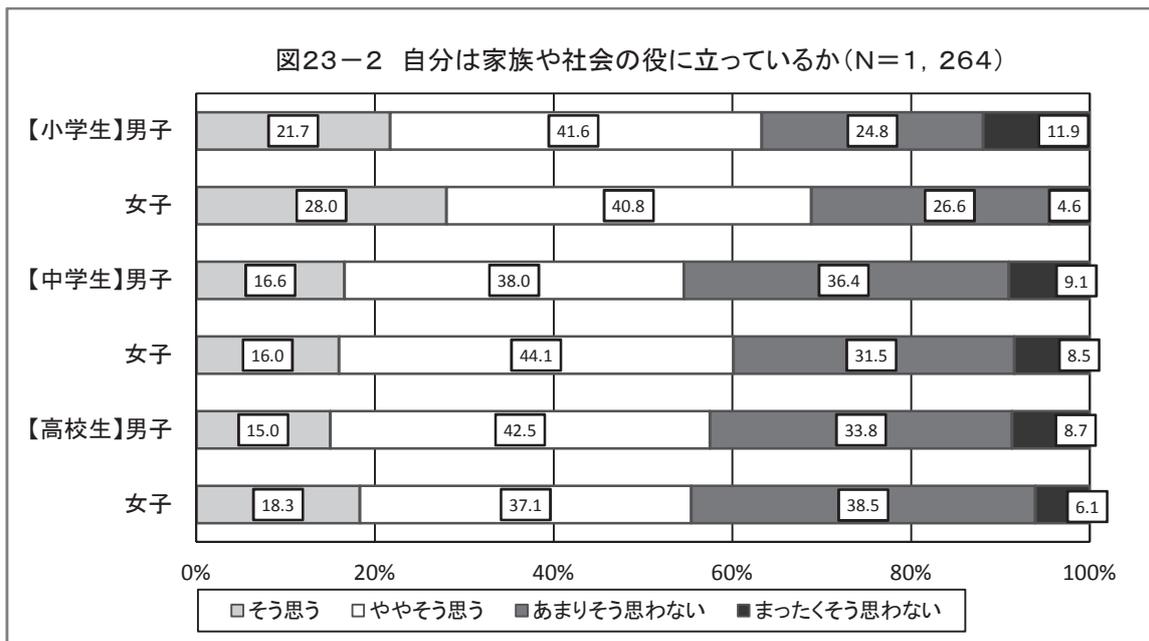
### 【学校種別集計結果】

『そう思う』を見てみると、小学生が66.0%で最も高く、以下、中学生(57.6%)、高校生(56.5%)となっている。



### 【属性別集計結果】

『そう思う』を見てみると、小学女子が68.8%で最も高い。また、小学生、中学生では女子のほうが男子よりポイントが高く、高校生では男子の方が女子よりポイントが高い。



## <自分より年齢が低い子への面倒見について >

問13

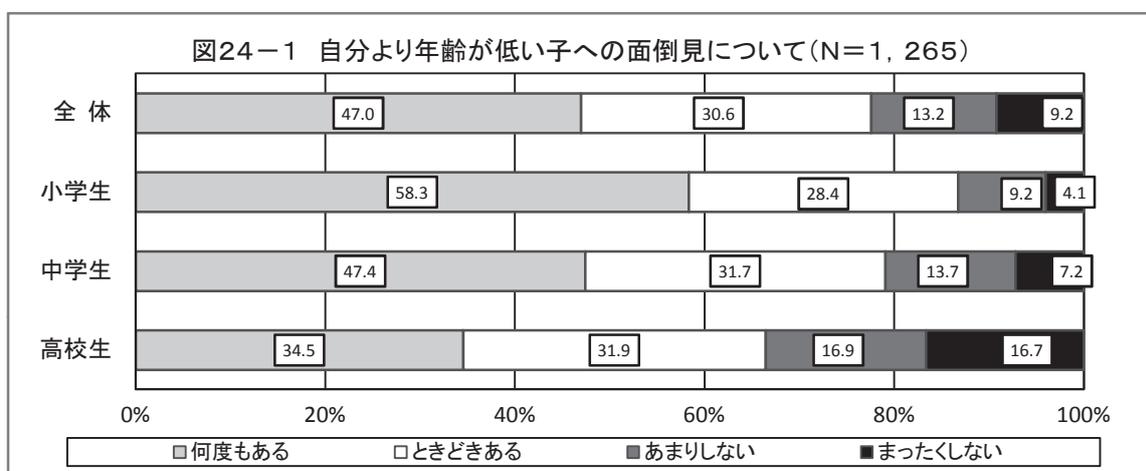
あなたは、自分より年齢が低い子と遊んであげたり面倒を見ることはありますか。一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

自分より年齢が低い子と遊んだり面倒を見るかについて尋ねたところ、「何度もある」が47.0%で最も高い。「何度もある」と「ときどきある」を合わせた『ある』は、77.6%となっている。

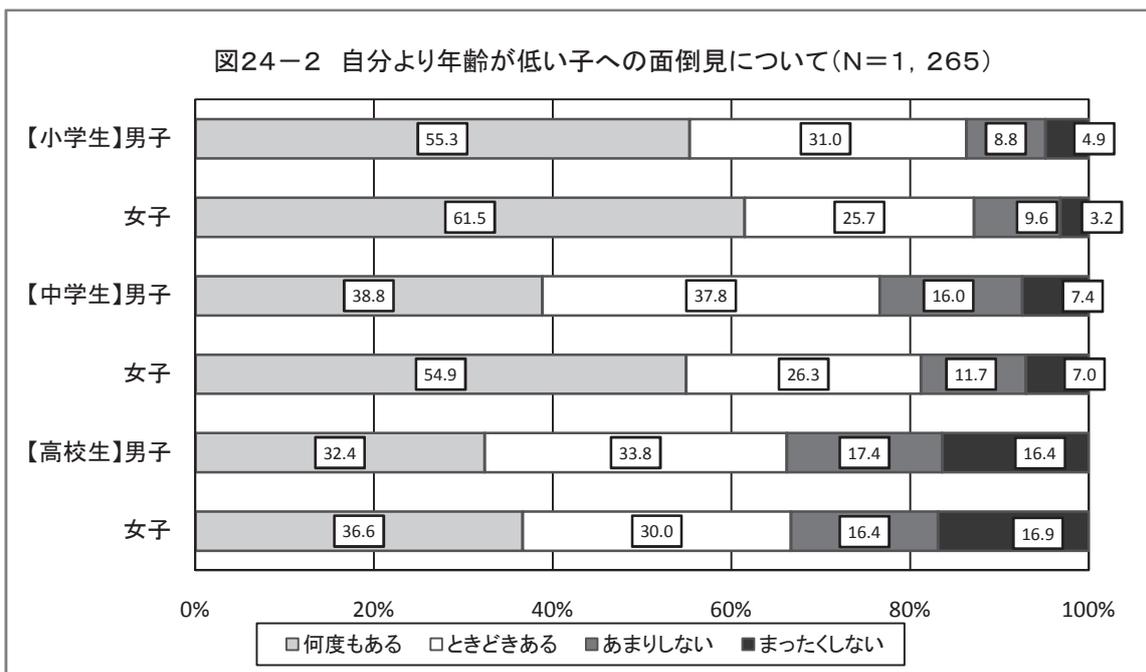
### 【学校種別集計結果】

『ある』を見てみると、小学生が86.7%で最も高く、以下、中学生(79.1%)、高校生(66.4%)となっている。



### 【属性別集計結果】

『ある』を見てみると、小学女子が87.2%で最も高い。また、全てにおいて男女の差はあまり見られない。

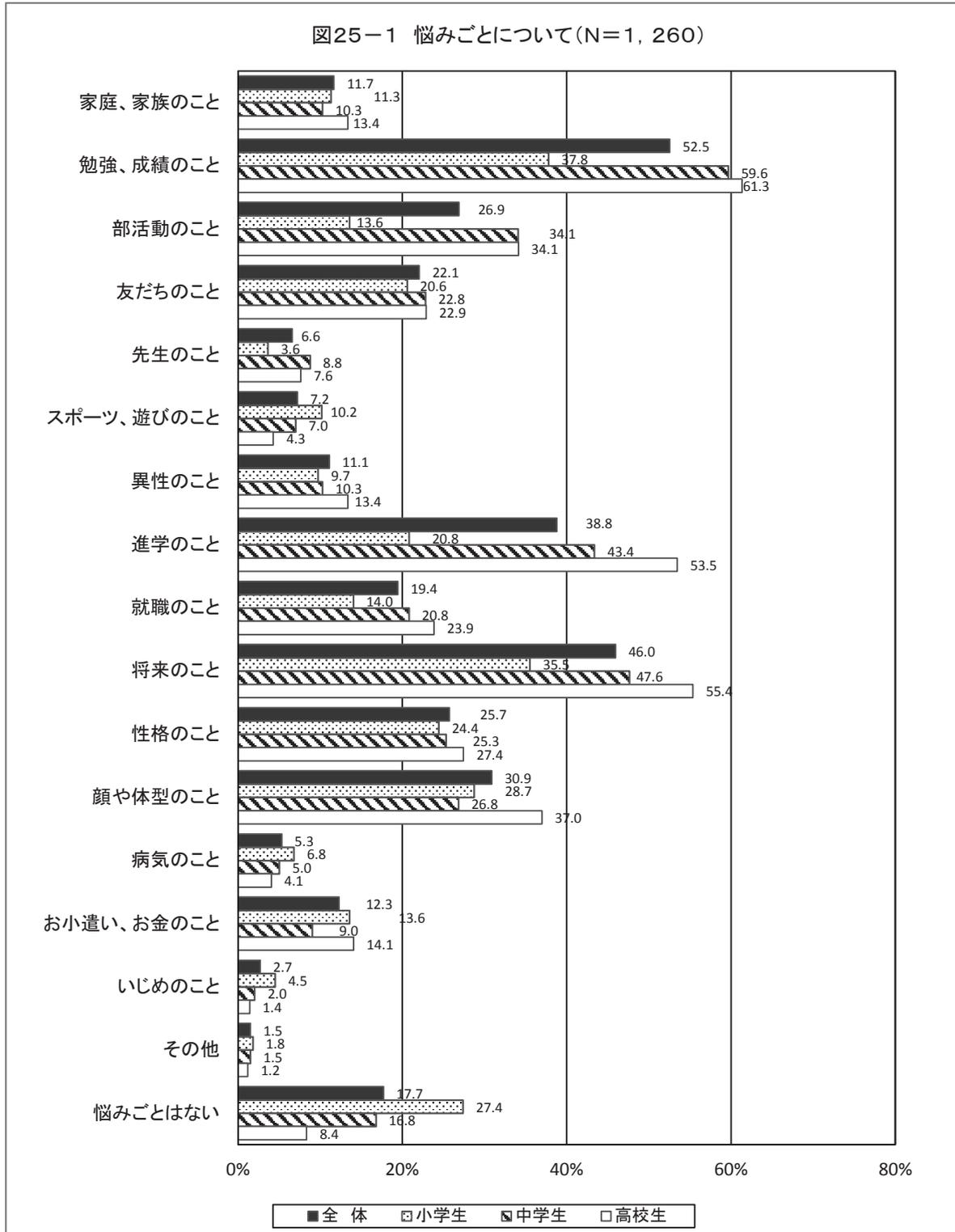


## < 悩みごと >

問14 あなたには、どんな悩みごとがありますか。あてはまるものを、1～16の中から、いくつでも選んでください。ない場合は、17を選んでください。

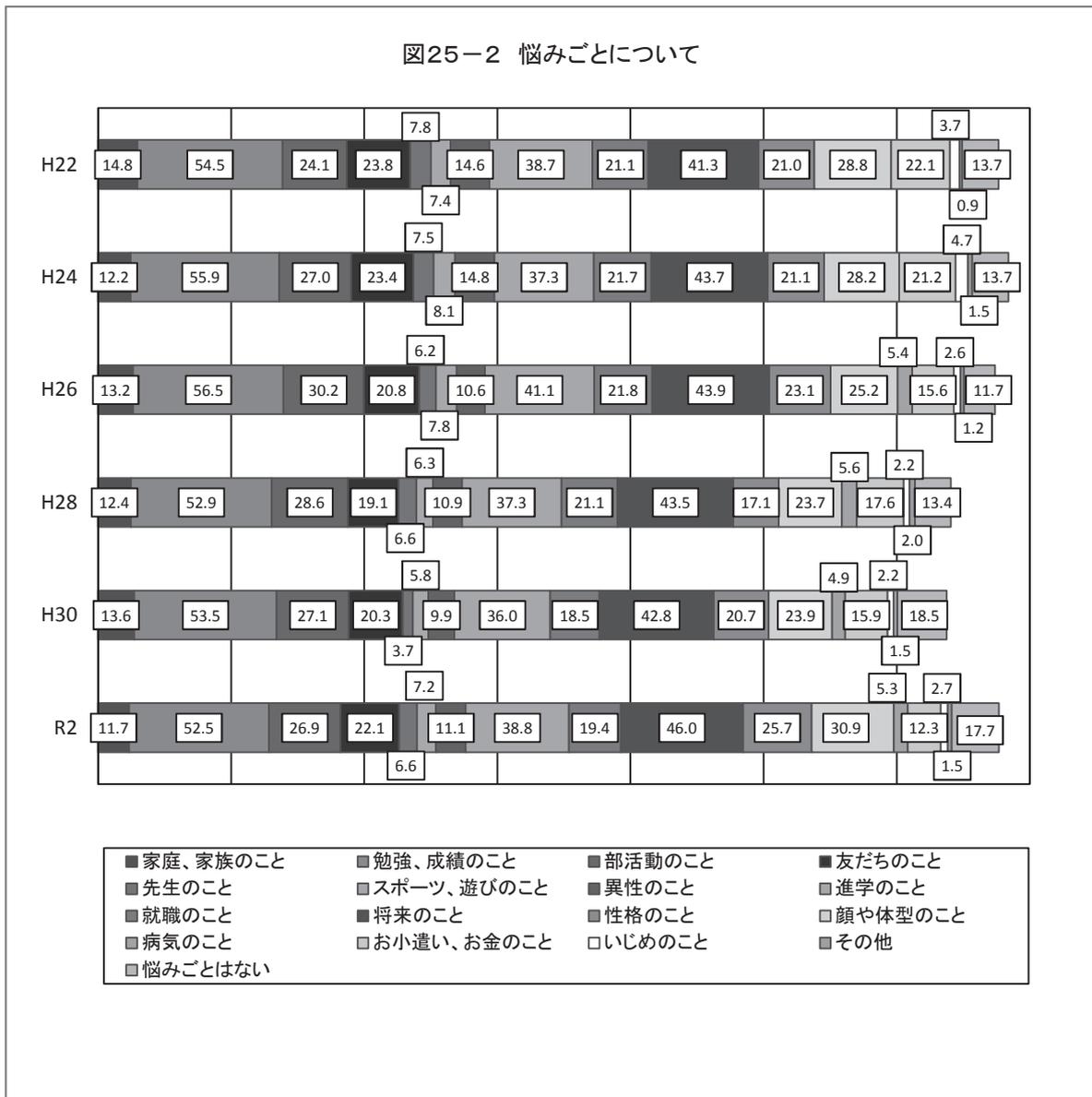
### 【全体集計結果】

どんな悩みごとがあるかについて尋ねたところ、「勉強、成績のこと」が52.5%で最も高く、以下、「将来のこと」(46.0%)、「進学のこと」(38.8%)などとなっている。



【経年変化】

「勉強・成績のこと」「進学のこと」「将来のこと」の割合が依然として高い。

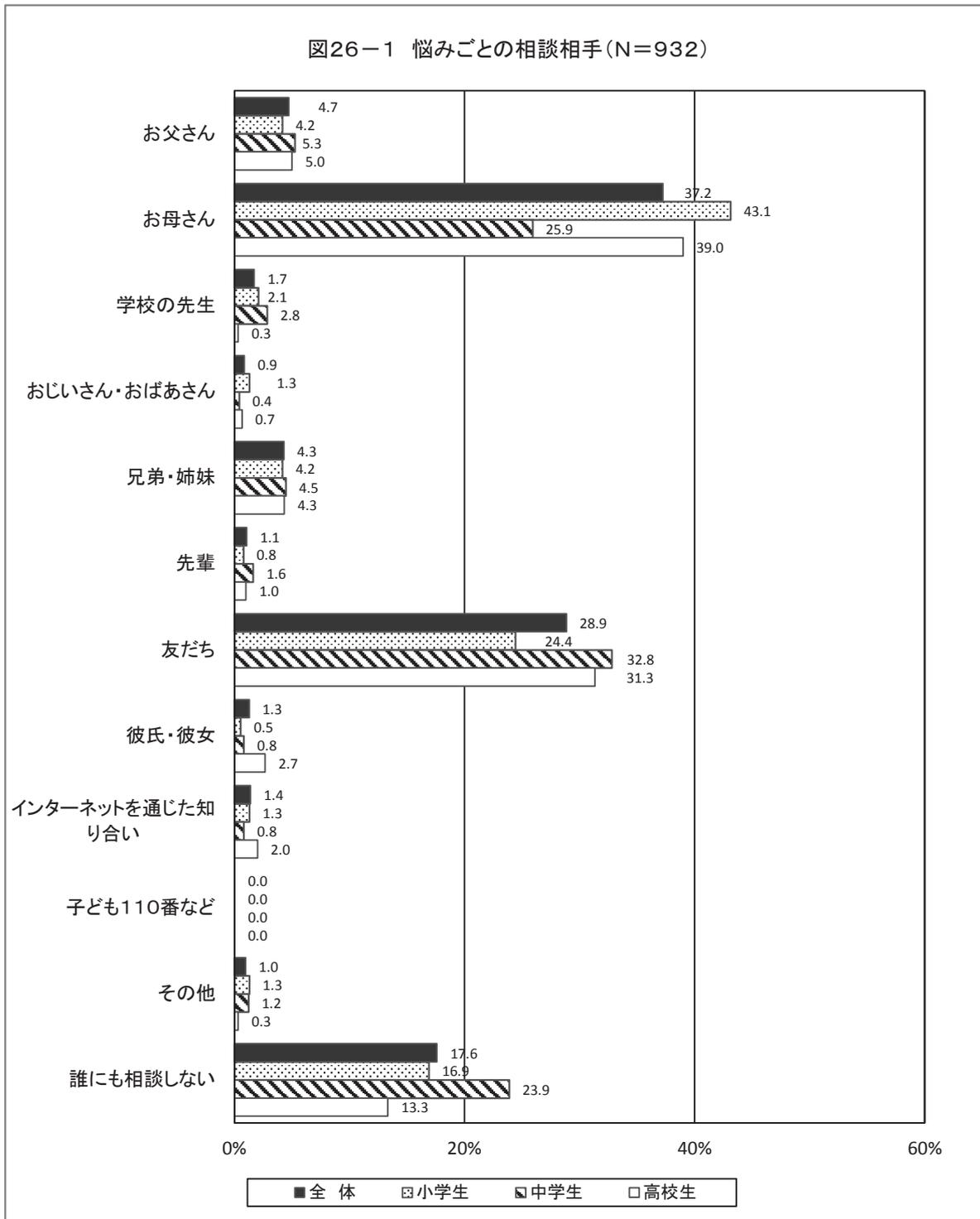


< 悩みごとの相談相手 >

問15(1) あなたがいろいろなことを相談する相手は誰ですか。あてはまるものを、1～11の中から、一つ選んでください。相談しない場合は12を選んでください。

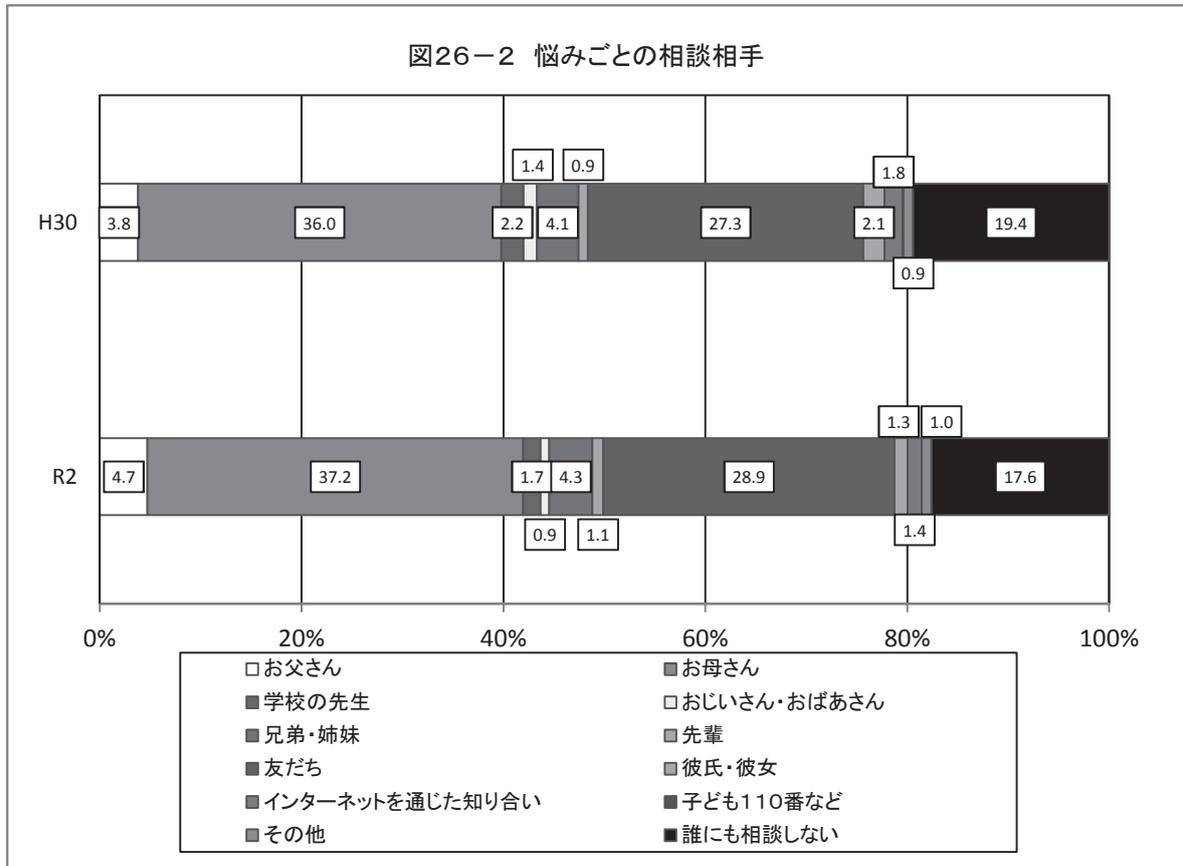
【全体集計結果】

いろいろなことを相談する相手は誰かについて尋ねたところ、「お母さん」が37.2%で最も高く、以下、「友だち」(28.9%)、「誰にも相談しない」(17.6%)などとなっている。



【経年変化】

平成30年度と比較すると、「誰にも相談しない」が減少し、「友だち」、「お母さん」への相談が増えている。

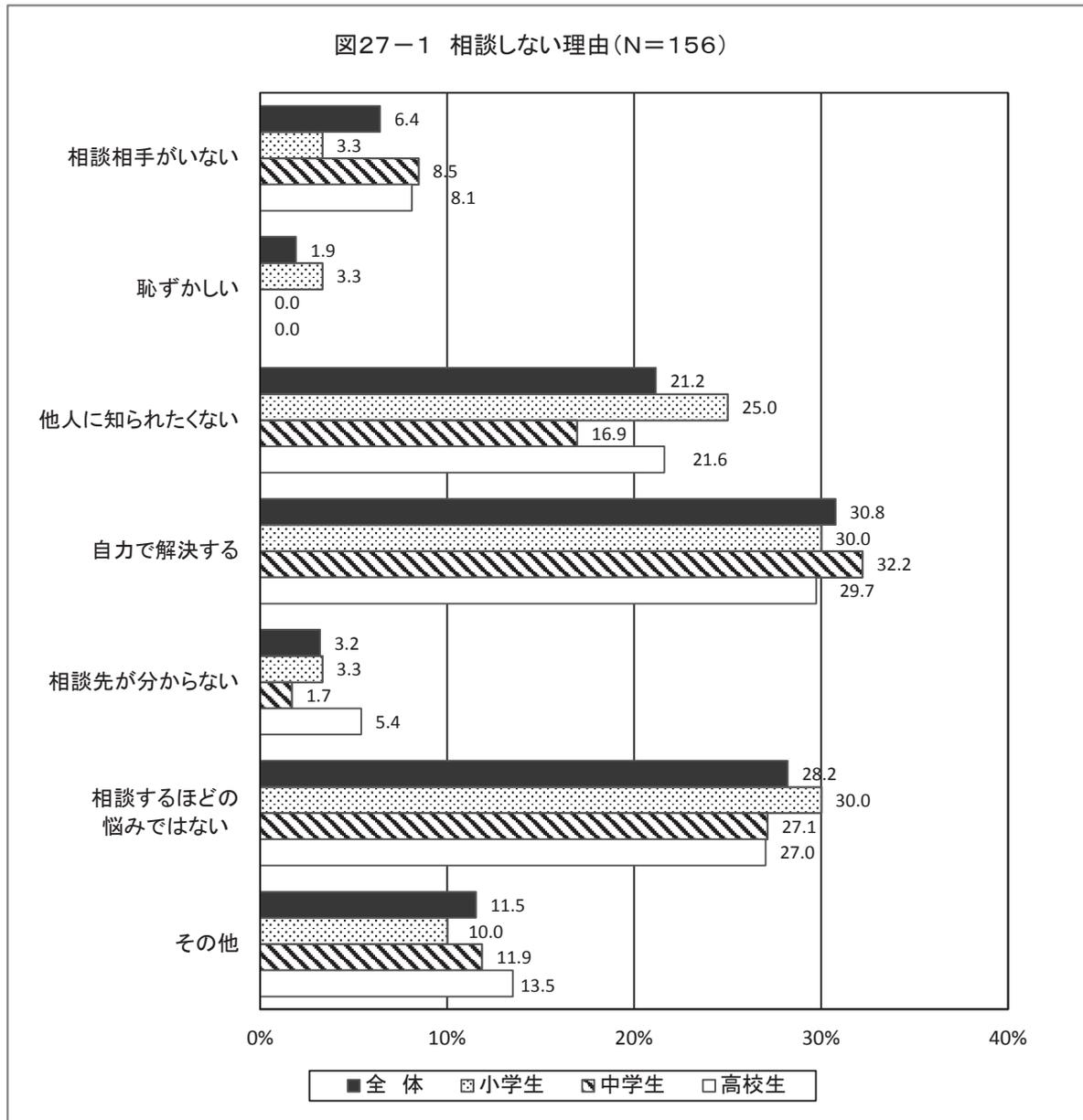


## < 相談しない理由 >

問15(2) (1)で「12 誰にも相談しない」を選んだ人はお答えください。それはなぜですか。あてはまるものを一つ選んでください。

### 【全体集計結果】

誰にも相談しない理由はなぜかについて尋ねたところ、「自力で解決する」が30.8%で最も高く、以下「相談するほどの悩みではない」(28.2%)、「他人に知られたくない」(21.2%)などとなっている。



【経年変化】

平成30年度と比較すると、「相談するほどの悩みではない」が減少し、「自力で解決する」が増加している。

